

北久原

公民館だより 冬号

秩父宮邸のシロヤブツバキ(東山)

第193号

コロナを恐れず、対策を行いながら区民の親睦の輪を広げた 北久原区民親睦グラウンドゴルフ大会



十月二十三日、区民親睦グラウンドゴルフ大会が開催されました。この大会は、当初九月二十四日に予定されていましたが、雨天のために止む無く中止になりました。そこで、区長さんたち三役が、グラウンドゴルフを愛する区民の要望に答えて、リベンジ大会を開いてくださったのです。会場は報徳の広いグラウンドから、公民館の多目的広場に変更になってしまいました。和気藹々とした雰囲気の中で競技が行われました。

参加して下さった区民は五十二名。小学生の女子も一人参加してくれました。やや高齢者が中心となっていましたので、幅広い年代の方が参加して交流して下さいとより大会が盛り上がると思います。

今回は二ラウンドの短期決戦のため、複数回ホールインワンを達成した人が俄然有利になります。結果、二回ホールインワンを達成した下合組の中村さんが優勝しました。

芙蓉教室閉講式

今年が三十六回目だった芙蓉教室の閉講式が、十一月九日に開催されました。区長さんの挨拶や市の社会教育課長さんの祝辞が続いて、研修部長さんから皆勤者の発表がありました。今年は五十六人の学級生のうち、四十五名が皆勤賞を受賞しました。今年も九日開催だったので、九番目に受付に来た上組の服部松代さんに代表して受け取っていただきました。



式典の後のアトラクション、今年は横通り組の武藤勇さんによる「脳トレ」です。武藤さんは学級生全員分のパズルを用意してくれました。木片を組み合わせて、指定された形を作りあげるパズルです。



最初に武藤さんのお手本、「富士山」や、昔の「鍵」の形に組み合わせる様子がモニターに映し出され、皆さん感心しながら見入っていました。

さていよいよ実践です。思い思いの形に挑戦し、見事に完成させた人は、カメラマンを呼んで完成写真を証拠として撮影してもらいます。出題された「お題」は「ろうそく」「魚」「門」「石灯籠」など、全部で十個。特に「山形」と「釘抜き」は難しく、完成させることができた人は、ほとんどいませんでした。

頑張った人で五つぐらいだったようです。たくさん完成させることができた人には講師の武藤さんから、さらに難しい「木組み」のパズルがプレゼントされました。



会場には、武藤さんの「木組み」作品が多数展示されていて、学級生みんな鑑賞させていただきました。

10月22日

例大祭

例大祭はそれぞれの神社にとって最も重要なお祭りで、北久原浅間神社では毎年、10月15日に執り行われてきました。しかし、今年はやんどころない事情によって一週間遅れの22日に開催されました。大祭には、氏子の方々や区の各種団体の代表の方々が参列し、北久原区の安寧を祈願しました。



11月12日

花の会植え付け作業

花壇を彩ってきたマリーゴールドやジニアの花たちが、冬を目前にしてだいぶ弱ってきました。そこで、まだ咲いている茎もありましたが、この日夏の花をすべて抜いてしまい、パンジーやビオラを公民館の花壇などに植え付けました。八幡通り集会所横の花壇には花の会の会長さんが手作りして下さった、新たな看板が設置されました。冬の間はなかなか難しいと思いますが、来春まで、きれいな花を咲かせてほしいと思います。

11月23日

新穀感謝祭

一年の豊作を感謝する新穀感謝祭が、23日に「七歳児祝」の式典に引き続いて浅間神社で举行されました。今年は珍しく、やや強く風雨が吹き荒れる日となってしまいました。境内の銀杏もかなり散っていて、冷たい雨に濡れていました。例年ですと、なおらいの席で部農会長さんから、今年の作柄について報告があるのですが、今年はどうだったのでしょうか。





いきいきサロン

十月

野の花劇団の皆さんが、報徳文化祭の公演に先駆けて、演劇「小人のくつや」を披露して下さいました。手作りの衣装も素晴らしい、大道具もしっかりと製作されていて素晴らしい公演でした。

十一月



今月は担当の佐藤さんがユーモアあふれる「川柳」や「都都逸」を紹介しながら、人生について考える時間にしてくれました。

川柳

終活は 明日にしよう と テレビ見る
噂とは 根も葉もなく て よく育つ
忘れた字 ちよつと崩して 草書体

都都逸

家の亭主と 炬燵の足は
無くてはならぬが あつて邪魔

新しい民生委員さんが決定！

これまで「北久原いきいきサロン」など多くの場面で活躍してきて下さった民生委員の外山信一さんと田代滋子さんが、十一月いっぱい退任されました。長い間ありがとうございました。

後任として中組の高沢良治さんと八幡通り組の杉崎洋子さんが選任されました。横断組の勝又明美さんには、引き続き担当していただきます。これからの時代、ますます一人暮らしや夫婦二人だけの高齢者世帯が増えていきます。民生委員さんの負担は増大していくばかりで、もっと行政による支援が望まれますが、当面は期待できそうもなく、大変なお仕事です。

区役員と連携を図りながら、生活に不便を抱えている方々のためにご活躍下さい。



北久原ウォーキング 区周辺コース その二 No.4

前回のウォーキングコースはいかがでしたか。実際に歩いてみたよ、という言葉も伺いました。ありがとうございます。さて、クイズを二問出題してありましたが、現地に行つて答を見つけて下さいましたか。西田中の八幡宮のコンクリート製の柱は、関東大地震の際に折れてしまったものだそうです。そして、栢之木八幡宮の切り株も平成八年の台風十七号襲来の際に折れてしまったものでした。科学者で随筆家でもあった寺田寅彦という人が、「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉をのこしていましたが、東海大地震が発生するという言葉を聞いたのは、私が高校生の頃ではなかったかと思いますが、あの折れた鳥居や巨木の切り株を教訓に、災害への備えを怠らないようにしたいものです。

さて、今回は栢ノ木区の続きから歩いてみたいと思います。出発点は北久原児童公園としてみましよう。公園の南側には数台分の駐車スペースがありますよ。公園は先日まで、鉄棒と黄色の雲梯が老朽化のため撤去されて少し寂しい状態でしたが、ジャ

ングルジムに塗装が施されて再設置されました。児童公園集会所運営委員会の方々が、さらに他の遊具も設置できるように、努力してくださっているところです。

公園の北側の道路に出て、富士山に向かって歩くと国道二四六号にぶつかります。ここは手前の側道を右折して国道の下をくぐる北久原一号函渠を歩きましょう。

くぐった先に中組の防災倉庫があります。その前に見事な紅葉がありましたが、もう散ってしまつたでしょうね。



奥の建物が中組防災倉庫



北久原1号函渠

この紅葉のところまで道が左右に分かれています。周辺コースということで、右折しましょう。少しの間砂利道で歩きにくいと思いますが、すぐに栢之木八幡宮から登ってくる広い道路に出ます。この道路の

北側は栢ノ木区になっています。

富士山を正面に眺めながらのんびり歩いていくと、やがて外科病院の少し北側で農道にぶつかります。この道路は二四六号の抜け道として交通量も多いので、横断して砂利道をさらに富士山に向かって歩きます。水田の間の農業用道路はカーブして南に曲がっています。正面には北久原四面塔共同墓地が見えていると思います。墓地の手前で北久原から仁杉に向かう道路に出ました。ここに仁杉区さんが設置したこの道路の名称と解説が書かれた立札が立っています。

さて、クイズその①この道路は何時代に何処に向かう人のために整備された道でしょうか。



墓地の西側に砂利道がありますのでそこを進んでみましょう。この道路の西側から仁杉区となっています。春先にはこの付近でも多くの野鳥が目を楽しませてくれます。「キジ」や「コジュケイ」「キジバト」などがいて、バードウォッチングにぴったりなところでした。この道は左にカーブして先ほどの農道のほうに向かいます。この先の人家の生垣にはちよつと前まで蜂が飛び交っていて、歩くときには右側をそおつと歩いています。

農道に出たら、右折して「いやさか橋」に向かって歩きます。時間帯によっては交

通量が多いので注意して歩きましょう。
途中にはこんな見事な組木細工が施されている構造物もありますよ。



このあたりが北久原区と茱萸沢区や萩原区との境界となっています。

いやさか橋を過ぎた交差点の所に、秋号で紹介した時計が建てられています。私は勝手に「傘時計」と呼んでいます。名前があると便利ですし、愛着も湧いてきます。この四つ角の先には鮎沢川に架かる前川橋があります。



この傘時計の四つ角を左折して東に向かいます。南側に杉林が続きます、少し暗くなっていますが、夏の暑い時期のウォーキングでは心地よい



風が吹き渡っていました。

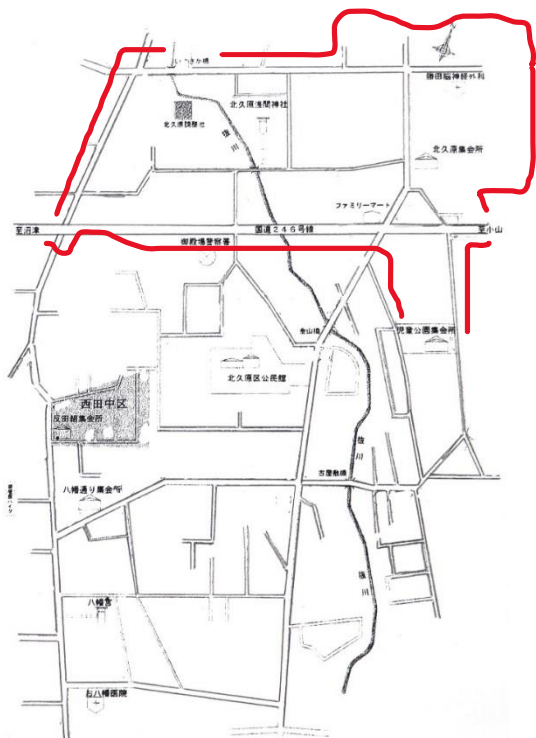


しばらくすると道路の左側に石仏が建立されています。台座の部分に名称でしょうか、文字が刻まれています、摩耗してきていて全部をはっきり

と読むことができません。どこかに記録が残っているとよいのですが、さもないといずれ区内に残っている歴史的遺産も区民に理解されないまま苔むしてしまいそうです。石仏を過ぎると四つ角があり、左折すると浅間神社に続いています。その交差点の南側には鮎



クイズの橋



塗装し新たな
ジャングルジム←

児童公園遠景↓



沢川が流れています。ここでクイズその②ここに橋がかけてありますが、この橋の名前は何かというでしょうか。橋の根元の部分に名前が書いてありますよ。
交差点を直進して八幡通り組の方に進むと、また杉並木があり、その中にイチョウの木が一本だけ混じっていて、シーズンには銀杏の実をいっぱい落とします。
二四六号をくぐった先の左側に坂道があり、上ると国道脇に出ることが出来ます。国道に出た右側のアパート群は北久原区ですが、すぐに道路の右下に広がるのは西田中区反田組の住宅街となります。警察署を過ぎ、洋風めし屋さんがある交差点を左折すると出発地点の児童公園が見えてくると思います。私の足で約五千五百歩、所要時間約五十分のウォーキングコースでした。



こまった時には「ほうかつ」へ相談

御殿場市地域包括支援センター
御殿場十字の園

☎84-5950

こんにちはは包括支援センターです

「冬のお風呂での事故に注意しましょう」

寒い季節の入浴は癒しの時間という方も少なくないと思います。一方で、冬の入浴は温度差で血圧が変動しやすく、ヒートショックと呼ばれる心臓や血管の疾患が起こりやすくなります。以下の点に気を付けて安全に入浴しましょう。①入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。②湯温は四一度以下、お湯につかる時間は一〇分までを目安に③浴槽からゆっくり出ましょう。④食後すぐや飲酒後、薬を飲んだ直後の入浴は避けましょう。⑤入浴する前に家族に声を掛けて気にかけてもらいましょう。



←移動支援のみなさん



いきいきサロンのみなさん

北久原を住みよい街に

秋号でも紹介しましたが、北久原区が福祉活動に熱心に取り組んでいることが評価され、市の社会福祉協議会から表彰されました。それを記念して、関係者の皆さんをカメラに収めさせていただきました。

編集後記

十月には久しぶりに「第三十五回報徳文化祭」が開催されました。展示部門では、絵画の部で小学生二名、中学生一名が、そして書写の部では小学生・中学生とも各一名が金賞を受賞しました。詳しい内容については「報徳会館だより」と重複してしまうと思いますが、「割愛させていただきますが、「たより」で紹介できる以上の壁新聞を作り、公民館壁面に貼ってありますので、そちらをご覧ください。

今月の題字の花の写真は、秩父宮記念公園の「椿」を撮影に行ってきました。さすがに少し早く、赤い椿はほとんど開花していませんでしたが、つぼみは大きく膨らんでいました。撮影してきたのは「シロヤブツバキ」ですが、光線の関係もあり、見づらくかと思えます。ぜひ公園を訪れてご自身の目で鑑賞してみてください。「ツバキ園」は公園のかなり奥のほうにあります。

北久原区公民館

☎七八・六八八八

(伊藤 記)

健やかに育て！北久原の子供たち

北久原区7歳児の祝



子供たちの健やかな成長を願い「北久原区七歳児祝」が、十一月二十三日に行われました。

今年はいいにくの冷たい雨。さらに北風が強く神殿の屋根の下まで雨が吹き込んで、昇殿するのも苦労する一日となりました。

例年ですと境内に集まってきた子供たちが、保護者の方々に記念写真を撮っていたりいたりしながら開式を待つのですが、今年は受付を済ませたらすぐに神殿に入っていたので、そこで家族ごとの記念写真を撮らせていただきました。そろそろお子様方の所に届いていることかと思います。

神主様に祝詞を奏上していただいた後に、三人ずつ玉串を奉納して無事に成長できるようにお願いしました。

そして区長さんからお話があり、来年の春小学校に入学するまでに、一生懸命運動し、いっぱい食事を摂って元気な身体を作って下さい。そして自分の足で友達と一緒に仲良く登校して下さい、と話しかけられると、「はい」と大きな声で答えてくれたお友達がいました。

保護者代表の方からは、地域の支援に感謝する言葉とともに、富士山のように美しく、たくましい健康な子供に育って欲しいという子供たちへの願いが述べられました。